



《樹の上の少年》1940年（2022年新収蔵）

白山市立松任中川一政記念美術館 館報

獨行道

独り行く道

——第三十一号—— 二〇二三年三月号

令和4(2022)年度 レポート

◆企画展

春季テーマ展

「中川一政 書と陶芸の世界」

―自在の境地にあそぶ― 後期展

会期…3月23日～5月29日

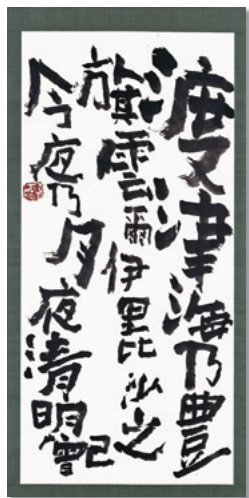
中川一政は、絵画にとどまらず、書や篆刻、陶芸、また挿画や装丁などに幅広く取り組み、何れの分野にも独自の境地を拓いています。

本展では、前期展（1月12日～3月21日）に引き続き、一政が主に70歳代以降に精力的に制作した書と陶器にスポットを当て、エッセイと共に紹介しました。

一政は、自身の書や陶芸が画家の余技とみなされることをよしとせず、画と同様に全力で制作に向かいました。独学で創作の道を歩んだ一政は、永い陶冶のなかで、自らの内から湧き起こる感動の表現を大切に、上手下手の概念から自由になりました。そうした姿勢から生み出される一政の書や陶芸は、見るものの心を揺さぶり、一政が「画家」という範疇に収まらないことを教えてくれます。



上)「渡津海乃(わたつみの)」
1989年／右)「茶碗」



秋季テーマ展

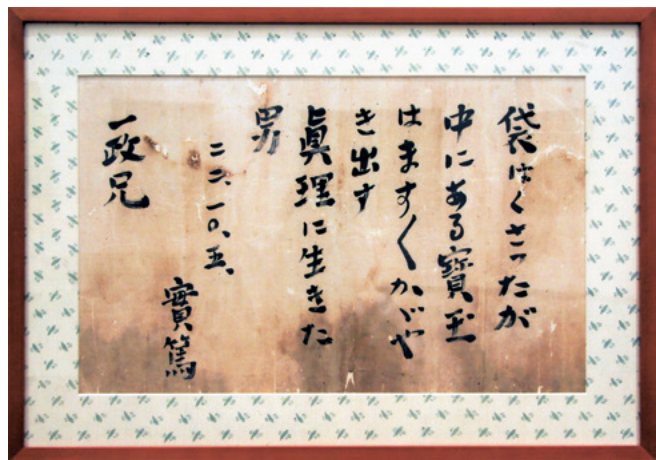
「中川一政と武者小路実篤」

―よみがえる100年前の扁額―

会期…9月3日～11月27日

令和3(2021)年12月、東京都杉並区永福の中川一政旧居から、武者小路実篤が一政に贈った書が見つかりました。武者小路実篤書「真理に生きた男」(左図版)です。

袋はくさったが／中にある寶玉／はますますかがや／き出す／真理に生きた／男
二二、一〇、五／實篤
一政兄



武者小路実篤書「真理に生きた男」1922年
紙本墨書／39.8×67.0cm
(右は2021年12月 発見時の状態)

夏季テーマ展

「中川一政

―薔薇、向日葵、そしてムーヴマンを描く―

会期…6月18日～8月28日

中川一政作品の魅力を知るうえで大切なキーワードに「ムーヴマン」があります。「ムーヴマン」とは、動きを感じさせる表現を言いますが、一政は美しく整った画ではなく、たとえ荒々しくとも今にも動きだしそうな生きている画を追求し続けました。

そして、彼が大切にした「ムーヴマン」には、もう一つの意味があります。それは、画家自身の心の動き、つまり「感動」です。

私の仕事は、志は何ぞや、という東洋の考えから始まる。東洋でいえば感動のことで、西洋からいえばムーヴマンのことである。ここを根柢にして、私の仕事ははじまる。(中略)感動を殺さないように、画面に定着することが仕事だ。中略 私は薔薇をかく。向日葵をかく。しかし、私は薔薇をかくているのではなく、向日葵をかくているのでもない。それらの形、色をかくて、ムーヴマンをかくているのだ。



「向日葵」1978年

心の動くままに、生命感豊かな花を描きだそうとする姿勢を、代表的な画題である「薔薇」や「向日葵」から紹介しました。

冬季テーマ展

「中川一政 書と墨蹟「レクシヨンの世界」

会期…11月29日～令和5年2月26日

中川一政が70歳代半ばから精力的に取り組んだものに「書」があります。絵画がそうであったように書もまた独学でしたが、独自の表現を切り拓くエネルギーを与えたものに禅僧の書・墨蹟があります。

「坊さんの書は手筋を論ずる暇がない。いきなり人の心をうつてくるものがある。その一点一劃に精神の力が宿っているのである。」(「書を書くこと」『随筆八十八』1980年 講談社)と一政が記す墨蹟の力は、そのまま彼の書の魅力にも重なります。

本展では、融通無碍の境地に展開される一政の書と共に、彼が蒐集した墨蹟を公開しました。墨蹟の出品は、鎌倉時代中期の渡来僧・元庵普寧や、南北朝時代の禅僧・大燈国師など。上手下手を超え、精神の力が込められた一筆が尊ばれる墨蹟と、それに鼓舞された一政の書の世界を紹介しました。



「元庵普寧墨蹟」13世紀(中川一政愛蔵品)

での仕事を大成したことを僕は喜んで讚美したいが、しかし未来の中川に一層期待をするのは事実である。(武者小路実篤「中川一政」現代日本美術全集第4巻 1954年 角川書店)

◆一政↓実篤

あなたは果たして画かきでしょうか。同時にまた詩人でしょうか。文学者でしょうか。また思想家でしょうか。それらのカテゴリーであなたは縛られない。私の頭にすぐ浮ぶのは一休さん、仙厓さん、白隠さん、こういう人達はあなたと同様に職人的手段によらず、最短距離で画をかいています。あなたはそういう人にすぐ直結する画をかかれていたのではないのでしょうか。画かきはいくらでも出るでしょう。しかしこのジャンルは人を得なければ成り立たないものです。そしてそういう人は百年に一人出るか出ないかという人です。武者さん。私はいちばん大切な時にあなたにお逢いしたことを第一の倖せに思っております。千人万人の中で一番逢いたい人に逢ったのです。あなたはいつも私の前を歩いておられました。それがほとんど私の一生涯つづきました。(中略) あなたは此世を去られました。しかし同時にあなたは残った我々の心の中に生きはじめるのです。昭和五十一年四月二十四日 (中川一政「弔辞」『随筆八十八』1980年 講談社)

注1…中川一政「扁額三つ」『随筆八十八』1980年 講談社

注2…雛鳥が内側から、親鳥が外側から同時につつくことで殻が割れ雛が生まれ出るように、両者のタイミングが一致すること得られる好機という。

武者小路実篤から中川一政に贈られた書画が並ぶ展示室



◆イベント・講座等
夏休みキッズプログラム

「二政に挑戦！油絵を描いてみよう」

開催日：7月24日



恒例の油絵体験プログラムでは、展示室で作品鑑賞の後、実作に取り組みました。中川一政油彩の模写のほか、一政が好んで描いたマジオリカ壺に実際に向日葵を生け、静物写生にも挑戦しました。初めて触れる油絵具やペインティングナイフなどを使いこなし、思いおもいの作品を仕上げました。（参加者：9名）

0歳からの家族鑑賞会「ミュージアム・スタート」

開催日：10月17日



小さなお子さんとその家族を対象にするこの鑑賞会は、NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事・富田めぐみさんを講師にお迎えし、アートを通じた家族のコミュニケーション体験を提供しています。コロナ禍以降は少人数、短時間での開催ですが、ユーチューブ動画やフォローメールを活用し、好評を得ています。0歳1か月から4歳までの子供達と家族が参加。併せて、かわちこども園の2歳児クラスの鑑賞会も実施しました。（参加者：21組58名、こども園8名）

講座「中川一政文集を読むⅪ」

『中川一政文選』④

開催日：6月18日、8月20日、10月15日、12月17日、令和5年2月18日
全5回



中川一政の著作本から彼の思想や生き様に迫る文集通読会です。テキストは昨年に引き続き『中川一政文選』（1983年筑摩書房）を読み進め、今年は主に身辺記を味わいました。戦前から戦後、一政40～50代にかけての随筆からは、身近な人への眼差しや戦争に対する思いが垣間見られました。（参加者のべ39名）

◆学校等連携事業
対話型鑑賞受入れ

認定こども園恵愛 4歳児38名 7月5日
市立鳥越小学校 6年生18名 10月7日



フィールドワーク受入れ

市立笠間中学校 1年6名 11月2日

鑑賞授業受入れ

金城大学短期大学部美術学科70名 5月17日

鳥越小学校6年生の児童たち。学芸員からの問いかけに、感じたことを自由に話し合い、他者の意見に耳を傾けていました。

◆コンサート

いしかわ・白山風と緑の楽都音楽祭2022協賛
美術館ローズコンサート マリンバ・デュオ

開催日：4月21日



今回のテーマは「風薫るロマンの調べ」。アーティストに田嶋翠さんと平松智子さんを迎え、マリンバデュオでヨハン・シュトラウスⅡ世「春の声」やサン＝サーンス「白鳥」、そしてチャイコフスキー「白鳥の湖」より「スペインの踊り」などをお届けしました。（来場者：30名）

中川一政生誕130周年記念
バースデイコンサート

開催日：令和5年2月14日



中川一政の130回目の誕生日当夜のコンサートは、トロイ・グーギンズさん（ヴァイオリン）と加藤純子さん（チェンバロ）を迎えて開催しました。一政が愛したバッハや、彼と同時代を生きたクライスラーやイザイ、レモ・ジャゾットの曲を交えたプログラムで、作品と音楽が響き合う豊かで情熱的な時間となりました。（来場者：60名）

◆新収蔵資料

（令和4年3月～令和5年2月収蔵分）
〈中川一政作品〉

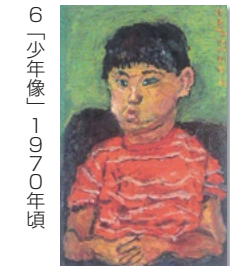
- 1 油彩「樹の上の少年」（1940年／カンヴァス／93・0×74・3cm（表紙図版））
 - 2 油彩「きょうだい」（1965年／カンヴァス／額装／60・5×49・8cm）
 - 3 油彩「少女像」（1967年／カンヴァス／額装／53・0×45・2cm）
 - 4 油彩「少年像」（1970年／カンヴァス／額装／40・9×31・8cm）
 - 5 油彩「少女像」（1970年／カンヴァス／額装／61・0×50・3cm）
 - 6 油彩「少年像」（1970年頃／カンヴァス／額装／60・6×40・9cm）
 - 7 素描「樹下子供」（1939年／鉛筆／紙／額装／18・4×25・0cm）
 - 8 素描「パリの散歩」（1954年／鉛筆・淡彩／紙／額装／23・5×30・5cm）
 - 9 素描「幼児」（1961年／鉛筆・コンテ・淡彩／紙／額装／26・5×18・8cm）
- 以上9点 横山七瀬・中川陽介・安ヶ平仲枝各氏寄附



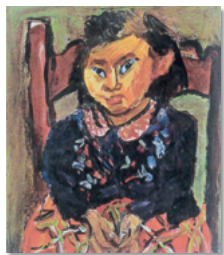
5「少女像」1970年



2「きょうだい」1965年



6「少年像」1970年頃



3「少女像」1967年



7「樹下子供」1939年



8「パリの散歩」1954年



4「少年像」1970年



9「幼児」1961年

〈中川一政関係図書資料〉

「春陽会50年の歩み展」（1973年東京セントラル美術館）ほか計4点（中川達郎氏寄贈）
「釈迦基督その他」（暁島敏著 中川一政装丁 1927年春秋社）1点（大嶋利佳氏寄贈）
「KAZUMASA EXPOSITION 1974 中川一政展」1974年4月2日～27日パリ・吉井画廊（1974年吉井画廊）1点（田邊穰氏寄贈）
皆さまのご芳志に心より感謝申し上げます。

令和5（2023）年度インフォメーション

令和5年秋に石川県で「いしかわ百万石文化祭2023」（10月14日～11月26日、第38回国民文化祭／第23回全国障害者芸術・文化祭）が開催されます。これに合わせ白山市では「白山ミュージアムサーキット」（当美術館・市立博物館・千代女の里俳句館）と銘打ち、文化施設3館が連携して同時期に展覧会を開催します。来館者に回遊して芸術文化に親しむ機会を提供する企画で、当館でも特別展を予定しています。

◆特別展

「生誕130年中川一政展
百花繚乱 芸術の魅力とその生き方」

会期：令和5年10月7日（土）～11月26日（日）
中川一政の創作活動は絵画や書、陶芸など広範多岐にわたり、まさに「百花繚乱」です。作品及び関連資料からその多彩な芸術の魅力を紹介すると共に、97歳の生涯を現役で全うした生き様から、人生100年時代を生きるヒントを見つけます。

また、本市の花「あさがお」を題材にした希少な作品の公開も予定しています。併せて、書家・根本知氏を講師に招いての記念講演会やコンサート、俳句会など関連事業も企画しています。詳しくは、本誌8ページ又は公式ウェブサイトをご覧ください。



「あさがお」1971年
42×58・0cm 廣澤美術館蔵

令和5年度 インフォメーション

※都合により変更の場合があります。
最新情報を館のウェブサイトや電話等で確認のうえ来館されることをお勧めします。



いしかわ百万石文化祭2023

白山ミュージアムサークキット「松任中川一政記念美術館
生誕130年 中川一政展」

百花繚乱芸術の魅力とその生き方

会期…10月7日(土)～11月26日(日)
関連イベント

- ・オープニングコンサート 10月7日(土)
- ・記念講演会 10月22日(日)
- ・俳句de美術館 記念句会 11月23日(木)

企画展「所蔵作品テーマ展」

2023前期テーマ展「中川一政 絵画と題材」

会期…Ⅰ期 2月28日(火)～5月28日(日)

Ⅱ期 5月30日(火)～10月1日(日)

2023後期テーマ展「中川一政 絵画と随筆」

会期…12月1日(金)～令和6年2月25日(日)

公募「第29回花を描こう絵画展」

対象…石川県内の小中学生

テーマ…自由(花・風景・動物・家族など)

募集期間…4月中旬～6月18日(日)

作品展…7月20日(木)～7月30日(日)

市民工房うるわし

表彰式…7月29日(土)午後／松任学習センター

コンサート

美術館ローズコンサート

「いしかわ風と緑の楽都音楽祭2023」協賛ミニコンサート

日時…4月19日(水)午後2時

中川一政バースデイコンサート

日時…令和6年2月(中旬)

※中川一政バースデイウィークイベント 献花(6年2月4日～14日)期間中開催予定

講座・ワークショップ等

「中川一政文集を読むⅡ」『中川一政文選』⑤

日時…6月17日(土)、8月19日(土)、10月21日(土)、12月16日(土)、6年2月17日(土) 11時

夏休みキッズプログラム「二政に挑戦!油絵体験」

日時…7月23日(日) 全日

対象…小学4年生～中学生/定員…10人程度

0歳からの家族鑑賞会「ミュージアムスタート」

日時…10月15日(日)午後・16日(月・休館日)午前

対象…0歳から未就学児とその家族/要申し込み

講師…NPO法人赤ちゃんからのアートフレンド

シップ協会

対話型鑑賞のススム

未就学児から児童生徒を対象に、対話型の鑑賞を随時実施しています。子ども達の主体的な発言と対話から鑑賞を深めます。多様性を認め合う心も育まれます。気軽に問い合わせてください。

令和5年度友の会 会員募集

特典

入館料フリー(特別展は別途必要)、企画展ほか各種催し案内、別館喫茶室優待、館報の送付等

年会費

一般 1000円、高校生 500円
令和5年4月1日～令和6年3月31日

期間

利用案内

開館時間

午前9時～午後5時(入館は4時30分まで)
毎週月曜日(祝休日の場合は次の平日)

休館日

及び12月29日～1月3日

入館料

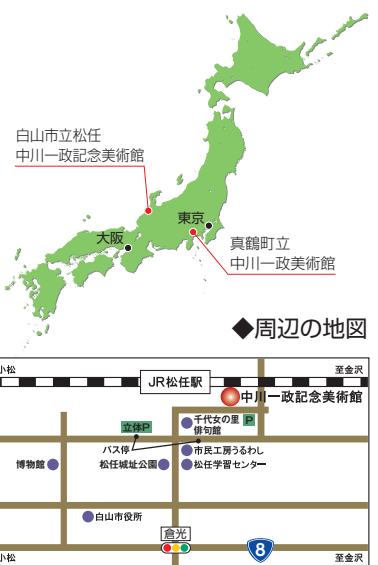
一般 200(100)円
高校生 100(50)円

入館料

※特別展は別途設定する場合があります。

※()は20名以上の団体料金です。

※障がい者手帳を提示の方とその介護者1名は無料です。
※毎月第3日曜日(家庭の日)は、市民の入館が無料です。



◆周辺の地図

交通アクセスのご案内

電車…JR松任駅※下車(南口)徒歩1分
※普通列車で金沢駅から約10分、小松駅から約20分
東京方面 北陸新幹線利用 約2時間30分
大阪方面 特急サンダーバード利用 約2時間30分
名古屋方面 特急しらさぎ利用 約3時間
航空機…小松空港から車で松任方面へ約40分
バス…北鉄バス松任停留所下車、松任駅方向へ徒歩3分
車…北陸自動車道白山市ICより白山市街・松任駅方向へ約10分
駐車場…専用無料駐車場8台

後記



1986年当館開館にあたり一政先生から寄附された作品群の中に「樹の子供」(1939年/図版)があります。本作は戦前の代表作の一つで、画風転換期の希少な作品です。画布の撓みや亀裂などが認められたため、この度修復を行いました。制作時の姿を取り戻しました。奇しくも22年親族のご芳志により寄附された「樹の上の少年」(1940年/表紙図版)は本作の少年と樹がモチーフです。合せて公開できる機会を楽しみにしています。(丁)

白山市立松任中川一政記念美術館 館報

独立道 第三十一号

発行 2023(令和5)年3月

編集 白山市立松任中川一政記念美術館

〒924-0888 石川県白山市旭町61番地1

電話/FAX 076(275)7532

題字揮毫 中川一政(提供 北國新聞社)